

Press Release

報道関係者各位

平成23年12月14日
株式会社ユビテック
(JASDAQコード 6662)

ユビテックの技術を活かした復興支援 ～宮城県山元町に車載計測式ガイガーマップ「UGM」を提供～

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す株式会社ユビテック(東京都品川区、代表取締役社長:荻野司、以下「ユビテック」)は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県亶理郡山元町に対し、震災復興支援として、車載式ガイガーカウンターにより走行経路上で計測した放射線量を連続的にインターネット上の地図に表示するシステム「Ubiteq Geiger Map(以下、UGM)」を開発し、提供いたしました。

宮城県亶理郡山元町の南部は福島県と隣接しているため、町民の方々の放射能に対する不安や関心が高まっており、役場では震災後から放射線量の定点観測を人手により実施していました。加えて、現在とりかかっている町の復興計画を策定する上でも関心の高い話題であったことから、定点観測地点を増やすといった施策も取っていましたが、人手による測定には限界があり、更なる対処を必要としていました。

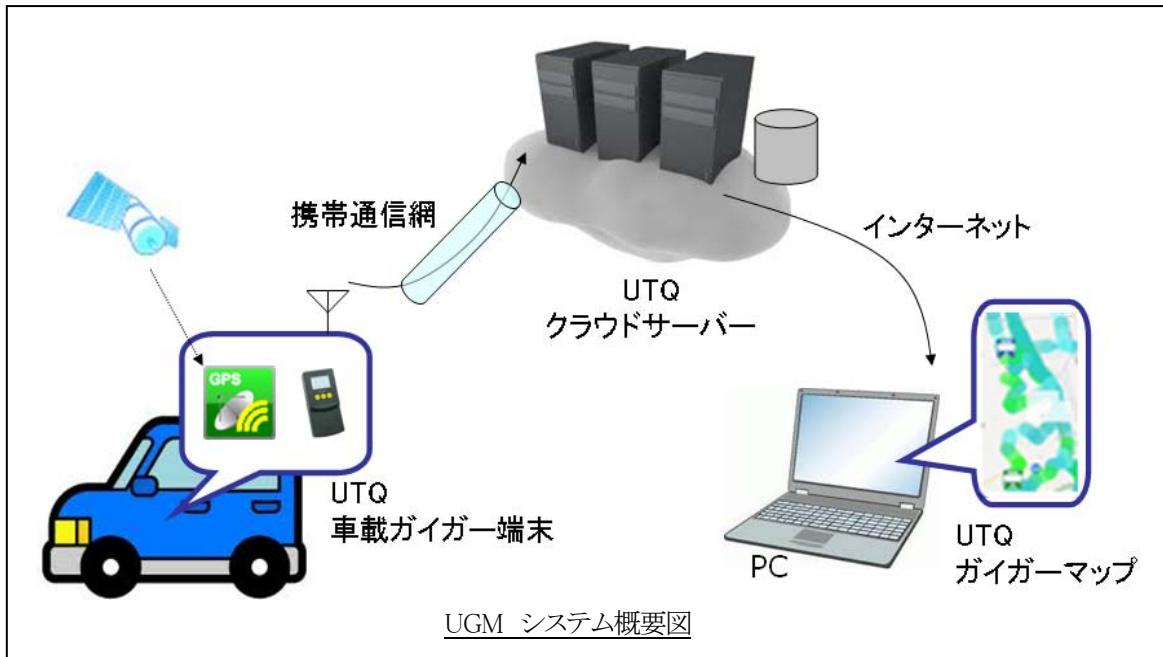
そこで、車載式ガイガーカウンターにより車両にて移動しながら広範囲で迅速に放射線量計測が可能となるシステム「UGM」をユビテックが開発し、町内の放射線量情報を山元町役場のホームページ上に掲載できるようにすることで、山元町ならびに町民の方々への支援をいたしました。なお、本情報については、下記URLからご確認いただけます。(URL:http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/genpatu/gururin_gaigar.html)

「UGM」はユビテックが保有する下記の技術のすべてを融合させた事により開発に成功いたしました。

- ・ 車載端末開発技術
実績:カーシェアリング車載端末 / テレマティクス車載端末
- ・ モノづくり技術
実績:カーシェアリング車載端末 / テレマティクス車載端末 / ATM等内蔵センシングモジュール
- ・ 車両運行管理情報システム技術
実績:テレマティクスシステム
- ・ 端末とサーバー、ネットワークを融合し利活用するシステム技術
実績:Ubiteq Green Service (UGS) / テレマティクスシステム
- ・ マッシュアップGIS技術(センシング情報等、様々な情報を地図上にマッシュアップし表示する技術)
実績: Spatial Gateway GISサービス、Live-E!プロジェクト

■山元町町長 齋藤俊夫様からのコメント

『このたびの「UGM」の開発は、山元町民の皆様に安心安全な情報を効率よくお届けし、ホットスポット等の問題にも迅速に対応し不安を払拭するための有用なシステムだと考えております。今後も山元町復興のために有効活用したいと思います。』



引き続きユビテックでは、長期的な支援活動の輪をさらに広げていくために、各種団体との連携も図りながら、当社が得意とするICTを利活用した復興支援活動を進めていく予定です。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ユビテック 担当: 管理本部 総務課
 電話: 03-5487-5560 FAX: 03-5487-5561